

26名議員

新体制

スタート!

★議会構成決まる★



議長 坂口 幸夫



副議長 大津 亮二

議長就任あいさつ 「郷土の限りない発展を目指して」

曾於市議会 議長 坂口 幸夫

明けましておめでとうございます。

2006年希望の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

この度の12月定例議会において、市民の皆様のご理解とご支援、

そして議員の皆様のご推挙をいただき新生曾於市

議会の議長のを職を仰せつかりました。議会の円滑な運営と市政の伸展を

第一主義として、誠心誠意努力してまいる所存であります。何卒よろしく

お願い申し上げます。

本市は昨年7月1日に、

末吉町・財部町・大隅町3町合併による曾於市の誕生という、皆様にとつ

ても私どもにとつても変革の年となり、3町の輝かしい伝統と歴史に幕が

閉じられた反面、曾於市という新たな歴史をつくる記念すべき年となりました。私ども議員は曾於市の発展はもとより、市民福祉の向上を目的に適

正な予算執行がなされているか、議会の使命である本市の具体的政策の最終決定と市民の立場に立つた監視について、真剣に

取り組んでおります。平成17年度一般会計当初予算は、175億6千5百万円でありますが、それぞれの分野における予算

の執行については、市民にとって最大の果実となるよう期待するものであります。特に、本市の基

幹産業は農業であります。厳しい国際競争や産地間競争に対応できる体

質強化や、就農者の高齢化、後継者育成等の助成策を更に充実していかなければならないと強く思うところでありま

す。そのような中、市内の児童・生徒が各種スポーツ大会等で素晴らしい成績を収めており、誠に頼もしく夢広がる思いであります。

平成18年もスタートしましたが、景気低迷の続く今日、自主財源に乏しい本市においても、厳しい財政運営は続きます。

しかしながら、住民のニーズに応え、少しでも本市活性化の要因となる事業展開を検討していかなければならないと考えます。

政府は、昨年12月24日の臨時閣議で、一般会計総額が前年度比3%減の79兆6千8百60億円となる18年度財務省原案を了承しました。9月に任期

切れとなる小泉首相の最後の予算編成は、歳出改革を一段と加速させ、財政再建に本格的に踏み出す内容となっておりますが、

一方では、地方へ配分する地方交付税交付金も一般会計ベースで前年度比9.5%減の14兆5千5百84億円と、地方自治体にとつ

て大変厳しい内容となっております。時代に即応した行財政運営が行われるためには、住民に最も身近な存在である私ども議会が十分機能を発揮し、与えられた使命を果たすことが議会としての責務であり、負託に応えられるよう努力することを約束いたします。

最後に、市民の皆様にとって、この一年が素晴らしい年でありまことと、わが郷土曾於市の限りない発展をご祈念申し上げ、就任及び年頭のご挨拶と致します。

